報告1

令和7年度採用 茨城県立高等学校等校長選考試験について

1 目的

- ・ 本県においては、「第2次 茨城県総合計画~『新しい茨城』への挑戦」に基づき、時代の変化に対応し、自ら考え、自ら行動し、解決できるような「人財」の育成に向けて、様々な施策を展開
- ・ 県立高等学校改革プランでは、新たな価値を創造する「起業家精神」を育成するため、これまでに県内各地に<u>中高一貫校を設置</u>し、探究活動、国際教育、科学教育等に重点を置いた教育を6年間で計画的・継続的に展開
- ・ また、全国初となる I T専科高校を含む 2 校を令和 5 年度から新たに開校して、A I・I o T など科学技術の進展や I T人財の不足という社会の変化に対応
- ・ <u>中高一貫教育校及び特色ある高校の校長を公募により選考</u>することにより、これまでのキャリアで培われたマネジメントのノウハウを十分に発揮し、過去の事例にとらわれない新たな発想に基づく、新しい時代の学校のマネジメントと人財の育成に期待

2 内容

2 内容	
項目	内容
① 求める人物像	・ 高い倫理観、優れたリーダーシップ及び組織マネジメント能力を有する者
	・ 過去の事例にとらわれない柔軟な発想力と企画力を有する者
	・ 社会の変化への対応力と先見性を有する者
	・ 地域の教育資源を取り込んだネットワークづくりの推進力を有する者
	・ 学校現場の課題を解決できる実行力を有する者
② 配置予定校	・ 7校:併設型中高一貫教育校 5校
	(日立第一、太田第一、鹿島、下館第一、水海道第一)
	中等教育学校 1 校(並木) 高等学校 1 校(つくばサイエンス)
	一
③ 応募資格	年齢制限なし
	(茨城県公立学校教職員及び茨城県職員)
	管理職の経験を有する者
	(「茨城県公立学校教職員及び茨城県職員」以外)
	民間企業等で管理職又はこれと同等の経験を有する者
④ 選考方法	· 公募
	第1次選考:書類選考(経歴等)
	・ 第 2 次選考: 録画面接
	 第3次選考:個人面接① (オンライン) 第4次選者 (関)
	・ 第4次選考:個人面接②(対面、リファレンスチェック・バックグラウンドチェック併用)
	 ※ 中高一貫教育校・中等教育学校・つくばサイエンス高校の校長(公募
	選考以外で配置した者)が出願した場合、第2次・第3次選考を免除
⑤ 任用形態	
	(茨城県公立学校教職員及び茨城県職員)
	・ 特定任期付職員(4年間)として採用
	(「茨城県公立学校教職員及び茨城県職員」以外) ・ 特定任期付職員 (4年間) として採用
	・ 特定任期的職員(4年間)として採用

項目	内容
⑥ 給与等	・一般職の任期付職員の採用等に関する条例(平成15年茨城県条例第6号) 第7条第1項の給料表適用(5号給支給)
⑦ 欠格事項	・地方公務員法(昭和25年法律第261号)第16条 ・学校教育法(昭和22年法律第26条)第9条

3 スケジュール (予定)

① 実施要項の配布	令和6年7月30日(火)から	配布場所: 県教委HP
② 募集期間 (4週間程度) 第1次選考 (書類選考) 第2次選考 (録画面接)	令和6年7月30日 (火) から 8月28日 (水) まで	受験者は、エン・ジャパン(株)が運営する転職サイトに会員登録し、転職サイトを通じて申し込む。教員は直接高校教育課へ申込み可能書類選考の結果については、受験申込書等の受理後10日~14日程度で合否を通知第2次選考結果は9月中旬に通知
③ 面接試験④ 合格発表	令和6年10月上旬 令和6年11月上旬 令和6年11月中	第3次選考(個人面接①)[オンライン面接] 第4次選考(個人面接②:最終)[対面面接]

【参 考】

〇令和6年度採用(R5実施)校長公募選考試験結果

1 応募状況

区分	男	女	計
応募者数	915名	59名	974名

2 選考結果

(1) 最終合格者 2名

(2)選考の経過

区分	選考方法	合格者数	
第1次選考	書類選考	365名	
第2次選考	録画面接	46名	
第3次選考	個人面接	11名	
		第2次・第3次選考免除者3名含む	
第4次選考	個人面接	2名	

〇校長公募による採用状況

R2採用	太田第一高等学校・附属中学校	校長(R4末退職)	
	鉾田第一高等学校・附属中学校	校長(R6末~更新)	
	竜ヶ崎第一高等学校・附属中学校	校長(R6末~更新)	
R4採用	水戸第一高等学校・附属中学校	校長	
	土浦第一高等学校・附属中学校	校長	
	水海道第一高等学校・附属中学校	校長	
R5採用	下妻第一高等学校・附属中学校	校長	
	つくばサイエンス高等学校	副校長(R5末退職)	
	勝田高等学校・勝田中等教育学校	校長	
R6採用	I T未来高等学校	副校長	
	古河中等教育学校	副校長	

※R6採用のうち、民間人からの採用2名はR7年度から校長として任用